

根尾選手ら投球こつ伝授！ 浜松 児童と交流会

根尾選手ら投球こつ伝授 浜松 児童と交流会

県内のスポーツ団体や企業などでつくる「スポーツを愛する会」は、プロ野球選手を招いた交流会を浜松市中央区のグラウンドで開いた。市内の少年野球やソフトボールのチームに所属する小学生ら約200人が参加し、上達するためのこつやプレー時の心構えなどを学んだ。

中日ドラゴンズの根尾昂、辻本倫太郎両選手ら球団の選手・コーチ計4人が質問に応じた。根尾選手は速い球を投げるための練習方法を尋ねられ、「遠投で体を大きく使って投げ



るフォームを身につけること」と回答。調子が悪い時に意識していることを問われた辻本選手は、良い状態の時のプレーを覚えておくことの重要性を強調した。参加した井伊谷小6年の山下颯磨さん(11)は「体が大きくて格好良かった。教わったことを練習で取り入れたい」と話した。

参加者からの質問に答える
根尾選手（右から2人）
ら・浜松市中央区

エンジンは「スポーツを愛する会」を今年10月に発足。今回の交流会は、プロの技術に触れるだけでなく、エンジンが「スポーツを愛する会」を通じて提供したいと考えている「夢と希望」「大切な価値観の学び」を体現する場となりました。中日ドラゴンズの根尾昂選手や辻本倫太郎選手ら4名が参加し、浜松市内の小学生約200名と交流しました。地域の子供たちがスポーツを通じて、プロの視点から「技術」と「精神性」の両面を学ぶ機会となりました。今後もエンジンはこのような交流を通じて、地域の次世代を担う子供たちの健やかな成長を応援していきます。

